

SEGMENT 1 : GALERI BUSANA DAN TEKSTIL MELAYU

セグメント 1 : マレー服とテキスタイルギャラリー

KAIN CINDAI

カインチンダイ

パイナップル繊維や細い絹糸をダブルタイ技法で織り上げた織布である。カインチンダイを織るプロセスは非常に複雑で時間がかかり、作るのに何ヶ月もかかる。カインチンダイは、「パトラ」として知られるインドのグジュラートから持ち込まれている。この生地は、マラヤに到着したときに並外れたもので、物理的耐久性が高く、火で焼くことはできないそうである。昔は、王族と高官だけが着用し、カスタムウェアとして、または王室の結婚式で結婚式の贈り物として機能していた。12世紀から13世紀にかけて、カインチンダイは最も人気があり、価値のある交易品のひとつになった。また、傷を癒し、傷をつけた人を保護する特別な能力で知られている。この生地は15世紀にマラッカの戦士であったハントゥアやハンジュバット、17世紀にクランタン州を統治した女王であるチク・シテイ・ワン・ケンバングなどの人気のある伝説によく関係している。

KAIN BATIK LEPAS BERAYAT

文付けのロングバティック

原産地：パタニ（タイ）

時代：20世紀初頭

着用者に保護と安全を提供すると信じられていたクルアーン文のモチーフで装飾された長いバティックのことである。このバティックは通常、マレーの戦士が着用していた。布は、特に戦場で着用者を保護するために、お守りとして腰または頭に巻き付けられていた。また、死んだ戦士の体の覆いとしても使用された。

SEGMENT 2 : MANUSKRIP MELAYU

RISALAH ILMU HISAB / THE KITAB OF MATHEMATICS

セグメント 2 : マレー写本

数学のキタブ(本)

1901 年 (イスラーム歴 1319 年)

クランタン州のクラディ川

シャイフ・ウマール・ナウルディン

この本は算数（計算）の科学について語る。

SEGMENT 3: SENJATA DAN ALAT TEMPUR MELAYU

セグメント 3：マレーの武器

ISTINGGAR/ SENAPANG KANCING SUMBU (MALAY MATCHLOCK)

イステインガル・マレー火縄銃

イステインガル・火縄銃は、点灯したマッチメカニズムを使用する銃器の総称である。これは人気のあるマレーの銃器で、その卓越性は、西洋人によって書かれた年代記から読み取ることができる。1511年にマラッカでポルトガルに対してマレー軍によって使用されたと考えられていた。信念に反して、マレー軍は戦場で銃器を使用し、ケリス、トンバク、レンビング、またはパランだけに依存していなかった。燃えている芯が蛇紋石と呼ばれる小さなカーブレバーに固定されると、イステインガルは発射する準備ができています。レバーを引くと、クランプは火薬で満たされたプライミングパンに燃焼の遅いマッチを解放する。火花は粉末に点火し、鉛弾を放出する爆発力を生み出す。

歴史によると、イステインガルは、オランダ人がポルトガルを攻撃するのを助けるときにジョホール・リアウ軍が使用した武器のひとつである。また、ペラ川を採掘現場に変えていたオランダ人を攻撃するためにペラの住民によって使用された。その上、イステインガルの使用は、元々はスララトゥス・サラティン（マレーの歴史）やメガット・テラウイスの物語などの古い物語にも見られている。メガット・テラウイスの物語では、彼がトゥン・サバンをイステインガルで殺すことに成功したと言われていた。トゥン・サバンは、特別な弾丸で使用するイステインガルを除いて、あらゆる種類の武器に対する免疫で知られている男であった。このイステインガルはオランダで発見され、2015年6月に彼の知人であるポルトガルのアージャン・ホレステルの助けを借りて、ムハマド・パウズィ・アブドル・ラティフ博士によって回収された。

SUNDANG

スندانは伝統的な剣の一種で、クリスと同じですが、刃が広く、はるかに重いです。 スンダングの扱いはクリスとは異なります。刺すのではなく、敵にぶつかって攻撃するために使用されます。 スンダングの柄は、クリスではなく剣の柄に似ています。

SEGMENT 4: ISI RUMAH MELAYU

SISTEM PENAPIS AIR/WATER FILTER

セグメント 4 : マレー世帯

浄水器

原産地：ヌグリ・スンビラン

時代：19 世紀

砂岩で作られたマレーの伝統的な浄水器システムです。砂岩は、簡単に形を整え、水を貯めることができる天然の堆積岩です。

PINGGAN PANTUN BUATAN W.ADAMS AND SONS

W.アダムス & サンズに製造されたマレーの民族的な四行詩（パントウン）のプレート

イギリスのスタッフォードシャー 1830 – 1890

W.アダムス & サンズは、イギリスのスタッフォードシャーにある陶器製品の有名なメーカーです。1830年に、W.アダムとサンズは「マレー」というラベル名の一連のプレートを製造し、マレーの州に販売しました。一連のプレートは、マレー人の間ではなじみのパントウンの形でジャウィ書道で飾られています。パントウンを書くために、彼らはベタウィから作家を連れてきて、ジャウィ文字でパントウンを書き、転写印刷法を使用して大規模にパントウンプレートを作成しました。パントウンの作者に関する情報は、シリーズのいくつかのプレートの裏にも印刷されています。パントウンには次のように書かれています：－

Pantun di bahagian tepi pinggan (rim);

Yang membuat namanya Adam Wakilnya

Tolson di Betawi

Syair dan pantun banyaklah ragam

Janganlah tuan kikir membeli

Pantun di bahagian tengah pinggan ;

Untung-untungan orang meminjam

Bagai meraba barang yang tajam Mata

yang jelik umpama kejam

Air yang keruh dikata jam-jam (zam-zam)

RUMAH NEGERI SEMBILAN

Rumah Dato' Raja Diwangsa

ダト・ラジャ・ディワンサの家

ダット・ラジャ・ディワンサの家はカンボン・メルアル・セリ・メナンティ・ヌグ リ・スンビランのセリ・メナンティ主要道路の隣に位地しました。以前は、その家は広い水田に面した中高の丘の上にありました。その家の主な柱は、チェンガール・バテュ（バラの加カパス・ヘルミ）という高品質の木材で作られているか、地元の人々の間ではカユ・ペナクとして知られています。ダット・ラジャ・ディワンサの家に壁と床はメランティ（ショレア・レプロスラ・ミク）の木で作られています。